

還る家とともに

かえるいえ

生と老いと病と死と、
喜びも悲しみも、ともに歩みたい……
誰もがいつでも
心の深呼吸ができる場所

〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町125

電話 045-881-0348 FAX 045-392-6043

E-mail: mail@zenryouji.jp http://www.zenryouji.jp

発行責任 善了寺 還る家とともに

2012年アンケート結果後編

前回に引き続き、結果を一部ダイジェストでご紹介します。

Q:入浴についてご意見やご要望について

- 入れて頂いて助かっています。
- 家での入浴回数が減り、助かる。
- 広い湯船でゆったりとして気が静まる。(利用者ご本人より)
- あがり湯が少ないのか、浴場の臭いが残っている事がある。
- いいけど、寒い事があった。(利用者ご本人より)
- 家でどのように介助しようか考えている。・・・等々貴重なご意見ありがとうございました。



★ひとこと★

食事と並んで、利用者の皆さんのなかでは楽しみにされている方の多い部分かと思えます。が、一方では、年齢を重ねるごとに、“めんどう”“たいへん”等を理由に、入浴される事を敬遠される方も意外と見受けられます。ご家族としてもどこを手伝っていいかわからなかったり、手伝う時間を割けなかったり…。そのような背景があり、上記のようなご意見があったと思います。デイサービスでは、ご自宅で入浴が厳しくなった人でも色々な工夫をこらして入浴して頂くよう努めております。様々なケースを見てきましたが、やはり、技術的に入るのが大変…という方は案外少なく、一番求められるのは、乗り気でない利用者を“どうその気にさせるか”。職員と利用者間に信頼関係が構築されていて、かつ、その方に納得出来る様な声掛けをすると、渋っている人も入浴していただけると思います。(職員と利用者間でも、相性があり、また、タイミングにも左右されるため、うまくいく時、行かない時もあります。)一昔前の老人ホームでは、嫌がるお年寄りを職員数名で無理やり入れる光景をよく目の当たりにしましたが、近年ではなぜ入りたくないのか(身体的な問題なのか？それとも心理的な問題なのか?)を分析し対応策を考えたり、信頼関係を大切にして、そのうえで安心して、気持ちよく入浴して頂いたりするなど、入浴方法は変化してきています。もし、お困りの事がありましたら、スタッフに相談してみてください。何か、解決の糸口が見える…かもしれません。

Q:(自分は)どんなお父さん・お母さんでしたか？

まじめで働き物・やさしい・きびしい・やかまし屋・のんびり・マイペース・子供の自由を尊重してくれた・子供を絶対叱らない・子供の頃、母が亡くなり家事をやり台間に畑を手伝った・明るい家庭、楽しい日々、幸福を招待する日々(利用者ご本人より)・自営業の為主人が亡くなってからあまり母親らしい事が出来ていない()

Q:趣味・特技・好きなスポーツは？

★男性

ボウリング 麻雀 カラオケ ゴルフ 読書 日曜大工 外国映画鑑賞 将棋 ギター 野球 テニス 水泳 農業 機能訓練体操 車で旅行

★女性

お手玉 裁縫(洋裁、和裁) 日本刺繍 生け花 手芸 手先を使う事なら何でも好き 書道 編み物 水彩画 墨絵 茶道 園芸 ちぎり絵 歌 詩吟 ドッチボール バレーボール そうじ・片づけ 全くなし(運動苦手)

★ひとこと★

私たちが、利用者の方々の理解を深めていく上で、必要不可欠な情報であり、また具体的な対応のヒントとなる事柄が潜在的に書かれています。結果、書かれている事を参考として、“〇〇さんとはこれをやってみよう…”とあれこれ

考えていくので、些細な事でもかまいませんので、“あんなことやこんなことが好きだった”等の情報を頂けると助かります。“善了寺デイサービスには畑があるけど、うちのおばあちゃん(おじいちゃん)は興味なかったんです…”とおっしゃられた方もいらっしゃると思いますが、以前畑をやっていた人が畑仕事をやってもらうようにしているだけなので、もし他の好きな事があるならば、こちらで出来る範囲内ですが、以前好んでいた色々な事を、デイサービスで実施し楽しんで頂けるよう検討していきたいと思っております。

♪ライク・ア・ローリングストーンならぬボブディラン♪

ある日、深夜にテレビをつけているとボブディランのドント ルック バックという映画がやっていました。その映画は、1965年の英国ツアー時のドキュメントフィルムなのですが、なんとまあボブディランの最高にかっこいいこと。ディランの(歌)詩は文学的にも評価が高く、今年のノーベル文学賞にもノミネートされています。

ボブは高校の時から音楽オタクでバイトをして稼いではお店に行ってレコードを漁っていました。新しい介護の礎、三好春樹さんも大の音楽好きで一度一緒にいた時には初期のローリングストーンズのメンバー、ブライアンジョーンズの話で盛り上がりました。そんな三好さんの発行している介護雑誌ブリコラージュの中で読者投稿の中で「三好さんは(新しい介護の)源流だからビートルズみたいなものだ」という文書がありました。まさにそうだと思います。

話は戻りますが、ボブディランの名言に「こころのままに進んでいけ、最後はきっと上手くいく」というものがあります。昨年、善了寺でも上映した「ただいま、それぞれの居場所」という介護ドキュメント映画の中で同じような言葉を聞いたのを思い出しました。映画のなかで木更津の宅老所井戸端げんき代表の伊藤英樹さんは「～情に沿って好きな年寄りに優しくしてあげなさい、みんなに同じようにする必要はない、苦手な人に無理して優しくろなんて思わない方がいい、その代わり惚れた年寄り情の湧いた年寄りには徹底的にいろんな事をしてあげな、その方がみんな(スタッフが)力を発揮しますね」と語っていました。

伊藤さんの著書「奇跡の宅老所井戸端げんき」の中でも、その伊藤さんの詩的な感性を十分に感じる事が出来るかと思えます。三好さんがビートルズなら伊藤さんはボブディランと言えるのではないのでしょうか。

そんな介護界のボブディラン、伊藤英樹さんが今年のキャンドルナイトにやってきます。是非みなさま、足を運んで一聴してもらえたら嬉しいです。よろしくお願ひします。詳細は別記してあります。 三根 周

冬至キャンドルナイト2012

ポスト3.11を創る

♥そばにいる しえあわせ♥



日時: 12月14日(金)18:00~21:00

ゲスト: 伊藤英樹

場所: 善了寺 本堂

申込不要、参加費はおこころざしをお願いします

木更津で宅老所「井戸端げんき」を運営している伊藤英樹さん。震災後、石巻にてサロン「よってがいん」を開き、高齢者にとどまらず、様々な事情を抱える人にとって必要な居場所を作っています。「制度からこぼれた人は、受け止められるところで受け止めればいいじゃないか」と語る伊藤さん。被災地で起きている「孤独」や「排除」、「無縁」という問題は、現在の日本全国で起きている問題をぎゅっと凝縮した形でもあるようです。辻信一さんとのトークを通して、震災後を生きる私たちの、小さいけれど確かな「しえあわせ」や「よってがいん」を中心とした被災地支援について一緒に考えてみませんか。境内にはキャンドルが灯り、松谷冬太さんによる生演奏もあります♪

日帰り旅行に行ってきました♪

今年もとつか宿駅前商店街の日帰り旅行に参加させて頂きました。千葉県の上野原という所で“葉又の滝”を見物しました。

その後小湊のホテルで昼食。(右の写真)御馳走をたくさん頂きました。夕方には東京ドイツ村(とはいうものの千葉県袖ヶ浦市)にイルミネーションを見学し



編集後記

鍋の季節ですね。先日、スーパーで白菜を買っていると、見知らぬ夫人が、「あら、その白菜新鮮じゃないわよ。もっと、葉っぱの青いところなかったの?」と聞かれ、既に野菜コーナーを通り越していたにもかかわらず、もう一度、野菜コーナーへ私を連れて行ってくれ、新鮮な白菜の見分け方を教えてくれました。この話を友人に伝えると、大笑いされましたが、私は、このような夫人のようになりたいと思えます。今は、何かと他人事の時代。『他人が、どんな白菜を買おうが知ったこっちゃない!』そんな時代、寂しすぎませんか?

ボランティアさん

いつもありがとうございます!!

- 中嶋芳江 桑野かねよ 安藤信子 竹中秀子 大森英理亜
- 山下トキエ 寺山範子 西岡美都里 寺島美代 渡井敏子
- 朝倉好子 別府与志子 濱崎芳子 市野和歌子 弓削福子
- 矢口和子 桑野雅子
- 飯島慶子 米村正男 小寺久枝 江田峯子
- 中島雄子 長井万佐江 村井ヒチ子 江尻伸子
- 鳥巣スエ子 牛島寛子 橋本淑子 長澤チヨ子
- 福寿貴美恵 大塚照夫 松村節子 桑野宣子
- 大金スエ子 梅本忠男 小林ミエ 林ヨシ子
- 山田ヒロ子 増村隆 穴山よしお 高橋莉緒
- 乾 隆子 佐竹知美

